



指定ごみ袋が、残り少なくなっていますか？

夏から秋にかけては、草刈りや家庭菜園のごみが増えます。いざ、ごみを出すときに「袋がない！」と慌てないよう、袋の残り枚数に気を付け、余裕をもって買い足しておきましょう。

生ごみに異物を
混入させないで！

生ごみに「水切りネット」「食品の包装」「フォーク」「スプーン」などの台所用品が混ざっていることがあります。

これらは機械が故障する原因になるほか、製造するたい肥の品質悪化につながります。
混入させないよう十分に確認して出してください。



生ごみは
水分を切って出そう

生ごみの約85%は水分です。

水分を少なくすることは、腐敗や悪臭をおさえるだけでなく、ごみ袋の節約になるほか、効率的で良質なたい肥の製造にもつながります。

生ごみを出すときは、水分をよく切り、収集当日の午前9時までに出してください。

収納棚などは
空にしよう

「食器棚」や「洋服ダンス」を粗大ごみで出す際に、引き出しや棚のなかに「衣類」「食器」が入ったままの場合があります。

これらはすべて「一般ごみ」です。粗大ごみを出す際は「中身を空にして」出してください。



やめようポイ捨て！

空き地や道路などに「たばこの吸い殻」「空き缶」「ペットの糞」「使用済のマスク」などが捨てられています。

ごみのポイ捨ては「犯罪」です。絶対にしないでください。

※ポイ捨てされたごみは土地の所有者が処分しなければなりません。悪質な場合は、警察または環境センターにご相談ください。



在宅医療ごみに注意

在宅医療で使用した「点滴パック」や「注射器」が出されていることがあります。

これらは、作業員のけがにつながるおそれがあるため、市では収集・処理をしていません。かかりつけの医療機関に持ち込んでください。

※なお、薬の容器包装は「識別マーク」を確認し、該当する収集日に出してください。



持ち込むごみも
必ず分別しよう

一般ごみや資源ごみ、粗大ごみが分別されないまま環境センターに持ち込まれる事例が増えています。

持ち込む場合も必ず分別し、可能な限り「透明または半透明のごみ袋」に入れてください。袋に入らないごみも、必ず分別してください。

※持ち込みには料金がかかります。
※農協で購入した肥料袋（プラ製・紙製）や防風ネットなどは、環境センターでは受け入れません。処分する場合は、農協にご相談ください。